

支援部だより

令和8年1月
八代支援学校
支援部

高等部卒業後に向けて

高等部では卒業後の就労を見据えて、職業の授業や現場実習に取り組んでいます。そこで大切にしていることは、働くために必要な力をつけることです。主な例を挙げると以下ようになります。

- ・役割を果たす
- ・やり遂げる充実感
- ・協力の仕方（声を掛け合うこと、作業ペース、
必要に応じて報告や質問をする）
- ・協力することで得られる効率性や仲間との連帯感
- ・自ら作業に取り組む
- ・安全への配慮
- ・正確な作業
- ・作業内容に適した服装
- ・あいさつがしっかりできる
- ・丁寧な言葉遣いができる

上に挙げた力を高めることができるように、個人に合った目標をスモールステップで設定し、日々取り組んでいます。

現場実習は、2年生と3年生が年に2回、6月と10月にそれぞれ2週間実施しています。1年生はこの期間、校内実習を実施しています。現場実習は1回につき、2ヶ所の事業所を1週間程度ずつ体験します。体験する事業所は、生徒と保護者の希望と生徒の適性を見て決めていきます。2年生では、異なる事業所を体験して、活動内容や活動時間、職場の雰囲気なども含めて自分に合った事業所を見つけていきます。3年生では、卒業後実際に就労したい事業所を決めるために1つか2つに絞って体験し、就労先を決定していきます。

実習期間の最終日には、生徒と保護者、事業所の方を交えて反省会を行います。反省会では、事業所の方から、良かった点、改善する点を指摘していただきます。それを受けて職業の授業では新たに目標を設定し、次の現場実習に向けて取り組んでいきます。

このように、職業の授業と現場実習を組み合わせることで取り組むことにより、働くために必要な力を生徒は少しずつ身につけて、卒業後の就労に繋げていきます。

上の枠内に挙げた働くために必要な力については、小学部や中学部のうちから取り組めるものもあります。ご家庭でも意識して、生活に取り入れてみてはどうでしょうか。

（文責 高等部 田中清徳）



現場実習の様子